

# 4月の衛研検査情報

～概要版～

## 医動物・種類同定検査結果（平成30年5月～平成31年3月）

**主な結果** 平成30年5月～平成31年3月の種類同定検査件数は、8件でした。内訳は昆虫類5件（コウチュウ目2件、ハエ目1件、ハチ目2件）、その他の節足動物3件（ダニ目1件、クモ目2件）でした。

## 食品中のアフラトキシン検査結果（平成30年度）

**主な結果** 6月に4検体（アーモンド、クルミ及びゴマ）、9月に6検体（ターメリック、ナツメグ、ブラックペッパー及びホワイトペッパー）の計10検体について総アフラトキシン（アフラトキシンB1、B2、G1、G2）の検査を行ったところ、ナツメグから総アフラトキシン1 $\mu$ g/kgが検出されましたが、規制値を超えるものではありませんでした。また、2月に牛乳2検体についてアフラトキシンM1の検査を行ったところ、全て不検出でした。

## アレルギー物質を含む食品の検査結果（平成31年1月～2月）

**主な結果** 市内の小学校、保育園から収去した卵除去給食47検体、乳除去給食47検体、小麦除去給食16検体について検査を行ったところ、全て陰性（10ppm未満）でした。

## 【トピックス】ミネラルウォーター類の規格基準の改正（平成30年7月）

**主な内容** 平成30年7月にミネラルウォーター類の規格基準が一部改正され、亜鉛、アンチモン、ヒ素、マンガン、亜硝酸性窒素、ホウ素の6項目の基準値の変更がされました。新規にアンチモンと亜硝酸性窒素に基準値が設定されました。ヒ素、マンガン、ホウ素の基準値は低くなり、亜鉛は基準値がなくなりました。ミネラルウォーター類は地下水を水源とする製品が多く、ここでは同様に地下水を水源とする専用水道の浄水処理方法と比較し、水質基準などの相違点を紹介します。

## 衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページでは、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



**主な結果** 平成31年3月は、疥癬（かいせん）ってなあに？（電子パンフレット）、インフルエンザ流行情報、大麻（マリファナ）、EBウイルスと伝染性単核症についてに関するページのアクセスが多くみられました。総件数は103,249件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください



<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/geppo/inspection-inf.html>

横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査などの結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。